

回覧

打ちはやし保存会（印場北島）

の現状と会員募集のお知らせ

打ちはやしの紹介

打ちはやしは、道行ばやし、祭りばやしのことで、昔からこの印場地区に伝わり、祭礼には渋川神社まで「榊」を奉じ、演奏しながら行進し神楽を奉納していました。尾張旭市の無形民族文化財に指定されています。

神社の祭礼や盆踊り大会、市の行事などに参加し、郷土芸能としての意識の高揚と伝承に努めています。

保存会の現状

現在の会員は、20数名ほどでほとんどが女性会員であり、「笛」の演奏者はいませんが「太鼓」の演奏者は高齢者で1名しかいません。この太鼓には通称「桶太鼓」、「せんべい太鼓」の2種類がありますが、このままですと存続ができなくなってきました。どうぞ男性、女性の方で太鼓の経験者、これから遣ってみようと思われる方は大歓迎であります。

いままでは、定期的に白鳳児童館において練習をしてきましたが、現在は指導者の都合により休止しています。体制が整い次第再開したいと思っています。

いずれにいたしましても、現状のままだと昔からこの地に伝わってきています「打ちはやし」は、伝承されていない事態になろうかと思えます。

どうか経験のある方、興味のある方男性、女性問いません是非「力」を貸してください。

印場北島打ちはやし保存会会長代行 浅見 保永

お問い合わせは、浅見までご連絡ください（TEL 0561-53-0309）

——キリトリ——キリトリ——キリトリ——キリトリ——キリトリ——

打ちはやし保存会連絡表

〒	
住 所	
氏 名	
TEL	